

防災活動

※世帯数及び人口は令和3年4月1日現在

北区	小学校区・地区名	馬屋上学区	世帯数	435 世帯	人口	927 人
----	----------	-------	-----	--------	----	-------

■組織の概要

馬屋上学区は中山間地域である。岡山空港を有しており、近年、多くの企業が社屋を構えている。同時に昔ながらの桃やブドウの生産も盛んである。馬屋上学区の安全安心ネットワークは「まやかみ安全・安心を守る会」として古くから活動しており、28の団体から構成されている。自然災害だけでなく大規模開発による人的災害にも気を配っている。

■活動の取組内容

年2回「消防団安全安心パレード」を実施し、地域の子ども達も協力している。普段から地域ぐるみで防災の意識を高めており、非常時には地元企業、スポーツ広場、馬屋上コミュニティハウスなど、近くに避難できる場所を設けることで安全・安心のために万全を期している。



消防団による防災パレード

馬屋上小学校においては、日頃から防災への関心をもってもらうため、令和3年は2回に分けて防災講座を開催した。



小学校の裏山を調査



災害時の避難行動講座

初回は岡山大学から教授を招き、散策しながら実際の危険が潜んでいるポイントを詳しく説明、児童は積極的に質問し、熱心に説明を聞いていた。

第2回は津高公民館より防災士を招き、地域特有の危険個所や、いま災害がおきても自分の身は安全か、災害が起きたときの自分の行動と家族の行動など、パネルを使って自分たちで考えていた。



岡山大学・鈴木茂之教授による課外授業

■活動の成果

参加型の防災活動を定期的に行うことで、地域住民のつながりが保たれている。また住民が少ないこともあり、多くの人がそれぞれの役割を担っている。そうしたことが防災だけでなく地域福祉や防犯にも繋がっており、地区の団結力は強固なものになってきた。

■工夫していること

馬屋上学区は、専門家からは他の地域に避難するより自宅に留まるほうが危険度は低いと言われていています。しかし、火災や地震はいつどこで起こるのか予測できず、単独での対応には限界があるため、日頃から学校園、地域団体、住民、企業の連携に力を入れている。

また、岡山西警察署にもご協力をいただき、有志による防犯パトロール（通称青パト）を月に2回行い防犯や異常の早期発見にも力を入れている。